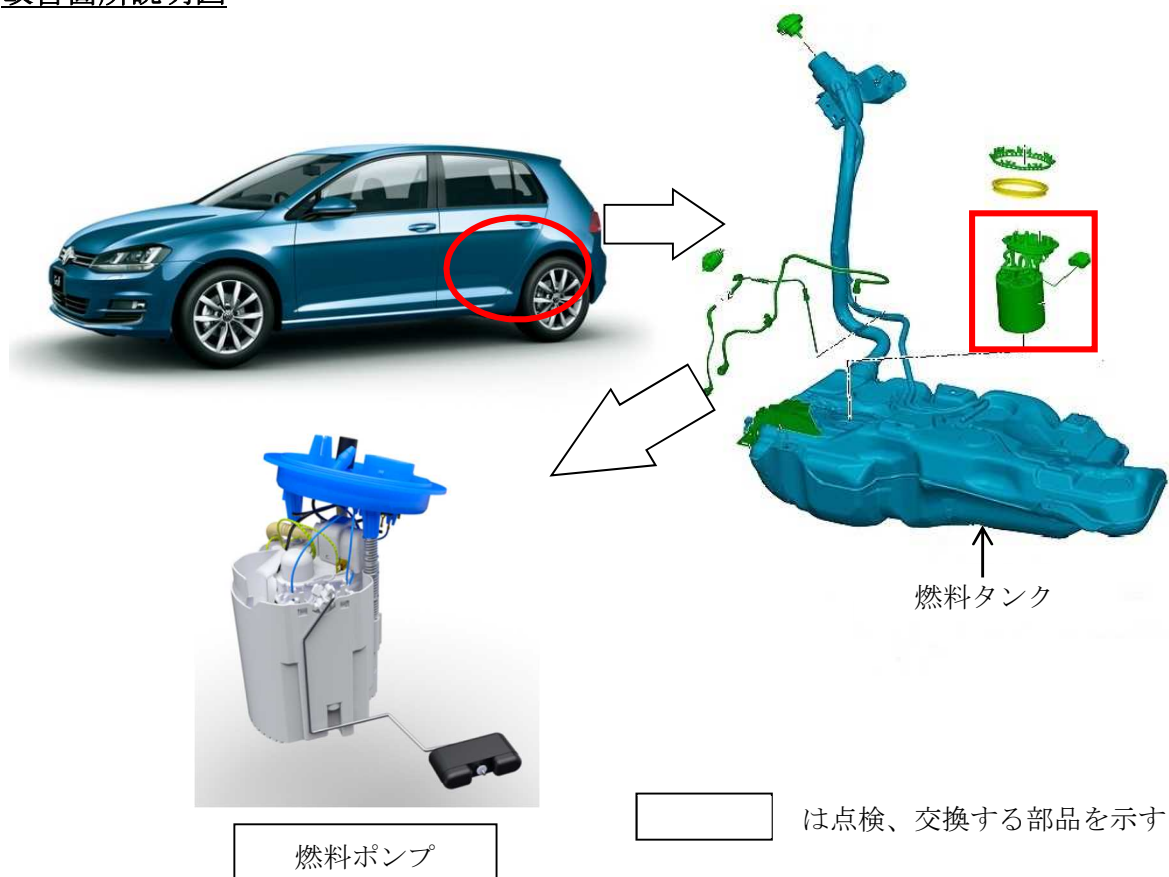


## 改善箇所説明図



## 不具合発生箇所

燃料ポンプにおいて、当該ポンプ内部の製造工程が不適切なため、内部部品のメッキコーティングが剥がれ、内部に異物として残留するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、燃料ポンプ内のインペラに異物が噛み込み、燃料ポンプが停止し、最悪の場合、走行中にエンジンが停止し再始動ができなくなるおそれがある。

## 改善の内容

全車両、燃料ポンプの品番、製造日を確認し、該当するものは燃料ポンプを良品に交換する。

識別:キャンペーンステッカーに「20W5、日付(西暦・月・日の順)、ワークショップスタンプ」を記入し、スペアタイヤ収納部左側面に貼りつける。

